

議 事 録

会議等の名称	令和元年度 市長と語る車座ミーティング (テーマ：働く若者の声を市政に伝える)	開催日時	令和元年10月7日(月) 午後 7時00分～ 午後 8時30分
		場 所	中央公民館 学習室5
主催者(事務局)	企画振興課	司会者	井上企画振興課長
出席者	NET'S 3名、東御市農業青年クラブ 2名、東御市商工会青年部 3名、MOVE!103会 1名 東御市消防団 9名 合計18名 花岡市長 事務局 井上企画振興課長、関、堀内		
議 題	(報告事項) ・ 市長と語る車座ミーティング	(配布資料)	別紙会議資料のとおり

討議内容及び経過	
	1 開会
	2 市長あいさつ
	3 車座ミーティング
	(1) テーマ及びミーティングの流れの説明(事務局より説明)
	(2) 将来目指すべき「若者世代に魅力的なまち」の姿について ～働く若者の声を市政に伝える～
東御市消防団員	今日このミーティングの資料を見たとき、人と人をつなごうというのが大きく書かれていると思った。個人的な意見なのですが、あまり深くつながりすぎるのもよくないのではないかと思った。お互いに居心地のよい距離感でつなげるコミュニティを作れば良いと思う。
NET'S	NET'Sという会は、地元祢津地域にある自称地域活性化集団と名付けて活動している組織。名前はLet'sGoのLet'sと祢津を足して2で割った名前、40代中心に働き盛りということで我々で何かしようとはじめた会。 まだ発足して3年だが、今小学校で盆踊りが無いということで、2年前からお盆のときに夏祭りを始め、400人くらいに来て頂いた。今年も11月4日に秋祭りを計画しているが、ただ企画して自分たちで楽しむだけでなく、一つコンセプトを持ってやらなければ意味がないと思う。 一本芯がおった目的として3世代交流があり、自分たち若者と自分たちの子供だけでなく、上のおじいちゃん、おばあちゃんという方達も全員で集まるのを目的としている。 ただ我々が活動するだけではなく、年配の人の意見も大事。 今日は若者だけのミーティングだが、そこを若い世代と次の世代でなく、むしろ上の人たちもかわるような、そういったコミュニティを作っていけば、まちのためになるのではないかと思う。 自分たちの世代がもっと上の人を引っ張り込んで、昔は近所のおじいちゃんおばちゃんたちが自分の子ども達や近所の人々の面倒を見たように、むしろ昔の姿に戻るようなまちづくりができればいいと思う。

NET' S	<p>NET' Sの活動に関しては上の世代を巻き込むということで交わらせてもらい、3年程前に、立ち上げ後から合流させて頂いている。</p> <p>祢津に居るため、祢津小学校の子供たちの祢津スポーツ少年団で10年程前から教えている。会長たちも教えた世代だが、今35～40代近くになり、そういった方たちが今子育てをしている。私は市のまちづくり審議会にも顔を出しているため、若い皆さんの生の声をそういったところにお伝えし、もっと東御市を仕事や子育てをしながら過ごしやすいような環境のお手伝いできればと思う。</p>
NET' S	<p>地元はずっと外に出たことがないが、地元に関心を持つきっかけをどれだけ作れるかが一番大事なかなと思う。それぞれ消防団に入っている皆さんも多いし、それぞれ活動されている方も多いと思うが、一人一人が情報発信役となって東御市の情報を発信し、今どういったことをしているのか、どんな人が東御市にいるのかを知ることが、まずまちづくりの一つのきっかけになるんじゃないかと思う。同級生とか同じ世代の人を巻き込んでいければ、いいまちづくりのきっかけになるのではないかと思う。</p>
MOVE!103会	<p>103会の正式名称はMOVE!103会、MOVEにちょっと何か動かしていきたい、移動してきたという意味があり、定住アドバイザーとして7月に設置させて頂いた。</p> <p>今日は若者と語るということだが、女性の姿が見られないということがだいぶ残念な感じで、これが現状だと思う。お母さんたちは、子育てや家事が大変いそがしくて、目の前のことでいっぱい、他の事を考える余裕がなかったり、出かけることなんかできないという事だと思う。これが今の時代だと思う。これをどうにかしてほしいという要望はよく聞いている。海外だと、お手伝いさんが安くやってくれるとか、いろんな方法でお母さんの負担を減らしているところもあるので、もう少し、その辺のところを改善してくれると、こういうところに来る方も増えるのではないか。</p> <p>何か話のきっかけになればということで資料をつけさせて頂いた。私が個人的に聞いている意見なので、賛否両論あるかと思うが、またご意見有ったら頂戴できればと思う。</p> <p>この103会は、今3カ月たち56名の方に参加して頂いている。移住者交流会という名目で定住アドバイザーの私が始めたが、東御にずっとお住まいの人にも入って頂いており、住んでいる人とか、これから来たい人とか、観光に来たい人とか、いろんなメンバーで構成されている。この人気投稿のところで、市内のイベント情報とか、これ行ってきたよという体験談、飲食店の情報、東御の自慢話、それから冠婚葬祭とか書いてある。日々口コミ情報として投稿を挙げております。今のところ相談のプライベートなどもあるため、フェイスブックをやっている方で非公開のグループページに参加して頂いた方みのグループとなっているが、これから会が大きくなっていくに従って、公開していったり、非公開のグループと併用していったりしようと思っている。</p> <p>私が個人的に考える魅力的なまちは、自分らしく楽しく生活している人がたくさんいればいいと思う。</p>
東御市消防団員	<p>仕事で農業をやっている、自分がどう売っていくかを考えたり、人はどうやって売っているかを見ると、やはり強いところは一つのことをしっかり極め、これをやってくんだという目標があってやっているといるところの方が、農産物を売ることにしても、また地域のエネルギーに関しても強いかなと感じている。そういうような話ができればいいかなと感じた。</p>

<p>東御市農業青年クラブ</p>	<p>東御市のリンゴ、ブドウ、野菜はこういうものですよという売り方、PRがない。農協は必ず同じ売り方をするという状態。 JAと話しても、いつも同じような反応しかないし、なかなかそういった状況をかえていくことができないという状態の中で、今青年部の方は結構活発な地域のため、そちらで色んな商品を作ったりしているが、時間がかかると思う。 いろんな人に会う機会があり、その中で一つ言われて衝撃的だったのが、東御市がすごく特殊な農業環境だと言われた。新規就農者の応援で、市と農協と農家が一緒になり、しかも県の農政も含めてのイベントとか新規就農者の応援というのをやった地域は見たことがないと言われたことがあり、そういう東御市のやり方が、すごいことだと思った。これからも行政だけでなく、農協だとか、県の農政を含めた交流ができればと思っている。 同じ世代の横のつながりでは、農業界は農業界で、他の工業とか商業、飲食店、それぞれの団体で交流していると思うが、横の業種を超えたつながりがもしもてるのであれば、そういう機会を頂ければと思う。例えば発送用の箱とかデザインを変えたいとか、加工品作りたいが、いい業者知らないかとかいうときに、今一番最初に相談しているのが、知り合いの農業者。その人が顔が広いから色んな方を紹介してもらってできるが、例えば、それができない人とか当然いると思うし、こういうの知りたいけど誰か知り合いいないかなと困っている人もいると思う。個人的には、同世代同士、特に経営者同士で横のつながりをしながら盛り上げていこうよということができたらと思う。</p>
<p>東御市農業青年クラブ</p>	<p>103会さんの資料見させて頂いているが、自分は大学の時に外に出て、こちらに帰ってきたのが30前半くらいだが、その時にはやはり不安を感じ、当てはまることがいっぱいあると思いながら見ていた。 やはり子育てしやすい環境が大事で、なんで自分が帰って来たかという、やはり田舎が好きだったから。こっちで住みたいし、こっちで子育てをしたいと思ったから帰ってきた。 友達とかと話しても、なかなか世帯をもってしまうと、仕事を変えるというのがすごくハードルが高い。まだ独身だったり子供がいなかったりすればそこはハードルが下がるが、子供ができ、そこからまた仕事の内容が変わる、生活の環境も変わるとなると、なかなかハードルが高いなと思う。 地元に戻りたいなっていう意見の人もいっぱいいるが、そこの一歩が踏み出せないという人もいっぱいいるんだなど。資料にあるとおり、出ていく人をとめるのではなく、来る人をどう迎えるのかそこをサポートしていくのかというのが、一番大事なのではないかなと思っている。</p>
<p>東御市消防団</p>	<p>縁があって18年前に東御市に来た。それまでは消防団に入っていなかったが、こちらきて7年前に消防団に入ったため、だいぶ遅いほう。子育てがひと段落して子供から手が離れてから消防団に入り始めて、それから横や縦とのつながりができた。消防団に入らなければこういった場もなかったということで、本当は消防団の垣根を低くして入りやすい環境にすれば、よそから来たひとが地域に溶け込める環境になると思う。母親世代はPTAとかで結構横とのつながりがあり、いろんな話もできるが、男性はそういったものは不得手で、おやじの会や消防団に入ることがなければ、地域に密着するということもなかなかない。消防団に入ったことをきっかけに安協を頼まれやった経緯もあり、地域の特徴とかもわかりました。自分から好きで入ったんで、今も楽しくやらせて頂いている。 昨日会議があったので、消防団の話の吸い上げをやってきた。 子育てに関してだが、小学校、中学校まで保険は無料だが、高校に入ってしまうと大人と同額かかってしまう。小学校、中学校はお金かかると聞いていたんですが、正直そんなにかからなかった。高校だと高校のクラブ等で怪我をしたりすると、大人と同じだけかかる。できれば他の地域と同じように高校でも無償化の希望もある。 もう一つ、スクールゾーンを設置してほしいというのがあり、田中の商店街が朝の7時から8時まで抜け道として使われてる。常田の信号から田中の小学校の歩道橋の部分までが、丸子から来る人たちの抜け道として使われており、そこらへんが渋滞する。小学生が通学する7時から8時の間だけでも、商店街のところがよそから来る人がダンプカーだけでも通らないように通行禁止の設置をしてほしいというのが、地域の住んでる人から言われた。例えば地域の人が達が通る分にはいいが、ダンプカーとか大型車の通行を時間で制限する。駅から常田商店街まで結構込むのでその辺も考えてほしい。 また、農業やっている方が多いので言い辛いが、ワインだけに補助金、助成金を払うのはどうかという意見も出ている。他の産業で働いている人もそれなりに大変なわけで、他の産業やっている人たち、ブドウ以外やっている人にも助成金とかあればいいという意見があった。</p>

<p>東御市商工会 青年部</p>	<p>自分は今佐久市に住んでいて、東御市の会社へ通勤している。東御市に住んでいないので、東御市が今何をやっているだとか、これからどうしていくだとか、申し訳ないですがまだ知らないので、皆さんの意見を聴きながら勉強といいますか、深く知れたらいいなと思い本日参加させて頂いた。特に意見というのは今すぐには出てこないが、皆さんの意見を聞いて何か意見があれば言いたいなと思っている。</p>
<p>東御市商工会 青年部</p>	<p>市内の会社で経営者をしており、今隣で自己紹介させてもらった彼も、うちの従業員として働いて頂いている。 今回の車座ミーティングでは、外部からの意見も非常に重要であると思い、また彼がまだ26歳ということで、比較的若い年齢に入るのかなと思いつつも一緒に参加してもらった。会社経営している側の立場で、地元へ貢献できることは何かというと、やはり人を雇用するということと仕事を持つてくるということが重要で使命かと思っている。そういう風に考えると、会社単独でできることもそうだが、今、東御市で取りこんでいる湯の丸のプールは個人的には非常に賛成。各地方の市町村で色んな取り組みやっており、大きな箱を作って様々な催しをやっているが、スポーツに特化した高地トレーニングにお金を投入すると。先日も新聞に東御市の湯の丸のプールの考える会の記事が載っており、いろいろと賛否両論があると書かれていたが、やはりお金を使うからには何か目的があり、その目的というのがスポーツを媒体として、ほかから人を呼び込もうと、そういう目的でやっているということに関しては、非常に個人的には賛成であるので、協力もしたいし精神的に進めて頂きたいなと考えている。 また、商工会としては、ここにも103会さんの方で他からの移住者をフォロー的なところを言っているが、商工会に入っていないくてもそういったイベントをされている方がたくさんいて、他の市町村になるが、望月町で「ツキ・ヒト満ちるプロジェクト」というもので、マルシェをやられてるという話を聞いている。その方たちで主になってやっている方たちは商工会には入っていない方で、かつ、他から移住してきた方。そういった人たちがメインになってやっていると、非常に集客もあって、話に聞くと商工会のイベントよりも人集まっているんじゃないかという話も聞いた。そういった方たちが来やすく、さらに住みやすい、生活しやすく、働きやすいような自分でこう商売をしていきやすいという環境をつくっていくところにも、是非力をいれていただければと思う。また、今日の車座ミーティングを高校生や中学生ともやって頂きたいなと思った。</p>
<p>東御市消防団</p>	<p>仕事は前の二人と同じ会社で働いており、製造部長ということでやらせて頂いている。一番気をつけてやっているのは、10人ひとがいれば10通りの考え方がありますので、やはり意見をしっかりと聴くということ。みんなが言いたいことが言えて、偏らないような感じの会社になっていけばいいなということを考えながら仕事をしている。 消防の方も同じような考え方で、私が所属している部は非常に人数が多く、人員を確保しなければいけないため、どうしてもみんなに出てもらわないといけな。みんなが出やすい環境とはどんな環境だろうというのを、今年の組織合併を機にみんなで考えようじゃないかと、今年から考え初めた。なかなか自分だけが苦労して別の人には出てこないじゃないかという意見もやはりある。そこは大人になってではないが、できる人は頑張るし、他の人のフォローもしてあげるといいうことで、そのような大きな気持ちでやれたら、みんなが来やすい環境になるのではないかと考えながらやっている。 私が住んでいるのが横堰だが、横堰は湯ノ丸の下ということで、湯ノ丸で働いている人がいっぱいいる。自分の周りにも湯ノ丸で働いている人がいっぱいおり、今うちの常務が話したプールの問題もあるが、自分はスノーボードをするのでスキー場のことが気になっている。あんなアクセスがいいスキー場はなかなかなく、雪質も最高だし、自分もそれで横堰に家を建てたようなもの。なんとか湯ノ丸スキー場がもっと楽しい場になればということで、スキークラブの方のお手伝いをしてインストラクターをしたり、色んな事をやっている。自分のスノボ仲間は東京、埼玉の人が多いが、やはり話を聞くと東御市自体を知っている人はあんまり少なく、知名度がやはり低い。ただ、実際に来てもらうとすごくいいとこだとみんな言ってくれる。しっかりとアピールしていけば、もっといろんな世代、いろんな人たちが来てもらえるんじゃないかと思う。 また、スキー場に来た帰り、インターに乗るまでに何かもう1つ寄れる場所があればという風に考え、自分の地元の横堰がもっと活性化すればいいなと思いつつも、それにはお金も必要だし、難しいのかなと思いつつも、そんなことを地元で話しながら夢見ている。</p>

<p>東御市消防団</p>	<p>リハビリに関していうと、東御は過疎地域だと思っており、職能団体にもリハビリの市民病院の方も属していない方が大多数でいる。信州訪問リハビリテーションネットワークでは、上小地域、佐久地域で東信ブロックとして一つの塊で動いており、そこには勿論上田も小諸も佐久入っているが東御市だけ加入しているところがない。</p> <p>訪問リハビリに関して言うと主に運用しているのが、介護保険下での運用になるが、そもそもがお医者さんがやれというだけではできず、地域包括支援センターの職員さんや、居宅介護支援者のケアマネージャーさんが依頼を出して、コーディネートしてくれないと訪問リハビリとして動けない。まだ認知度が少ないというか、まだ訪問リハビリというものを活用してもらっていないかなど。今実質、東御市民の中で訪問リハビリが必要な方がいらっしゃったら、隣の小諸市であったり上田市とかにケアマネージャーを委託し、そこから隣の市から飛んできて患者さんのところに赴いているのがほぼ実情だと思っている。リハビリの仕事もしているため、東御市にとっての今後の理想像としては、子どもから高齢者まで住みやすいまちが作ればいいかなどと思っている。</p> <p>自分は今回消防団として参加させて頂いて、他に参加されている人の半数が消防団所属ということで、大変申し上げにくいですが、自分は東御市民になって3年目だが、ざっくばらんに言うと消防団がこういう組織だとわかっていれば入らなかった。</p> <p>一番の理由は操法の大会が大きな負担になるということだが、今時ネット社会で何でも調べられるので、消防団廃止都下の言葉で調べるといろんなネガティブなことが出てきてしまう。自分まだ消防団3年目だが、程度の大小はあってもネットに出てくるようなネガティブなことを目の当たりにしてきた。消防団そのものは自分は必要だと思っていて素晴らしい活動をしているなど思っている。例えば冬場の火事場での消火活動で火を消すときに道が濡れてしまい、そこが通学路であったら次の日の朝、通ってくる小学生が滑って転んでしまうので塩カルをまくとか、火を消すだけでなく行方不明者の捜索であるとか、そこは誰にお願いしたらいいかわからないところを消防団にお願いするだとか、素晴らしい活動をしている。消防団は地域の人にとって、とても大事な活動をしていると思うが、正直言うとそれよりも自分にとってのデメリットが多いので、自分としてはやめたいと思っている。消防団は市民、区民の方から見られて、消防の活動費も払っていただいて活動しているものなので、区民の人にとってためになる、活動費を払ったかいたがあったというものであるべきだと思う。それが仮に操法の大会に出て、仮の仮に全国優勝したとして、それが市民の人の生活にどう反映されるかというとならないと思う。例えば、毎日操法の大会を週に2~3回、朝の4時から何時まで朝訓練をして、夜は濡れたホースを巻き取るのは夜8時だとか、家庭と職場の両立だけではなく、消防団の比率があまりにも大きすぎる。絶対幽霊部員の人達はそこを思いやらないでいる人たちが多いのに、なんで誰も声を上げないのかすごい不思議。昭和60年時点では総務省の統計だと100万人以上の消防団がいたが、現状だと80万人少々と順調に減っていった。減っている理由は明らかに判っているのに、どうして操法やめないんだらうかと。正直行政の方たちそういうことを言っても消防団員の人たちとは基本的に仲良くしてもらったほうが良く、今の消防団組織をどうにかしようとするメリットはないと思うので、特に変わらないと思うが、こういう気持ちの団員がいるということを知っていると自分としては来たかいたがあったと思う。</p>
<p>東御市消防団</p>	<p>自分は市外の出身だが、勤め先の関係で、こちらに移住してきて定住している形になる。</p> <p>東御市と聞くと、上田とか小諸とか佐久とか大きい地域から移住してきたり、なかなか環境がわからない状態が入ってきた方とか結構多く、今分譲地が結構できて、そこに入ってきている人は、上田とかに建てようと思ったけど土地的に安いからということでメリット感じて住んでいる人が多いと思う。実際の勤め先はどこか聞くと、都内の方に出ている、東御市内ではなく上田や佐久に行ったりとか、日中の勤め先が多様化してきている。今は出張費や新幹線代も出て、東京まで通ってベッドタウンになってもいいぐらいの距離なので、そういった意味では働きに出してしまうと日中はほほいしない。では土日はいるのかというと私の場合は結構地元の方に帰ってしまうことが多い。消防の活動とかには出るが、同じように地元がもともと上田だからとか長野市の方が実家だとかの理由で、家は建てるが、実際には土日も平日も東御市にいないという人が多い。当然メリットを感じて家を建てて頂いてすごくいいと思うが、将来的にずっと長く住み、そこで子供たちも育てて、後々は子どもたちも定住していきたいという考えにはならない人が多いのではないかなと思う。ただ単純に便利だとか通勤にいいだとか、そういったメリットだけ優先になって住んでいる人が多いんだと思う。またさらに一歩進んで、次の世代に家を建てるだけでなく、子供たちも同じようにそこに家を建て人口増やして、というような形でなにか取り組んでいくことが必要なのではと思う。</p>

<p>東御市消防団</p>	<p>東御市の若者世代に魅力的なまちということで、やはり若者が増えないとなかなかまちづくりは難しいのかなと思う。そういった中でこれも一般的かもしれないが、企業誘致とか、そういったところに補助金、助成金等を払ったりとか、もちろん大企業を誘致すればいいというものではないが、ここで働く人を基本的にふやすということが若者が増えていくことにつながっていくのではないかなと思う。それに伴い移住する方も増えていけばいいのかなと思う。青木村では移住者の方には100万円の補助があるとか、多世代に対する補助とか頑張っている。なかなか人口が増えていくのは難しいとは思いますが、そういったことにさらに厚くして頂き、まずは人口増加というのが目指すべき姿なのかなと思う。</p>
<p>東御市消防団</p>	<p>自分の場合はずっと外で働いており、東御市の方では働いていなかったが、ありがたいことに2～3年前、保育園の頃からずっと一緒にいた仲間に、一緒に仕事をしないかと呼ばれ、この東御市で働くことになった。保育園から中学校まで一緒にいて、そこから先は全然会うこともなかったが、たまたま消防団に入り、久しぶりに会って、その時にお互い同業者をやっており、声をかけてもらった。昔一緒に遊んでいた仲間は離れてしまっているかもしれないし、都会にでてしまっているかもしれない。その昔遊んでいた仲間に出会う場所が一番必要なかなとも思った。たまたま自分の場合は消防団だったが、出会って久しぶりに飲みに行こうというような場所、きっかけが必要なかなと思った。</p> <p>子育てをして、休みの日にどこに子供を連れて行こうと考えたとき、晴れているときは中央公園とかでいいが、雨降ったときはどこ行こうというのはすごく迷う。佐久ジャスコ行こうかアリオ行こうかとなってしまふ。雨の日に子供をつれて遊びに行けるスペース、お母さんがいなくてもお父さんが連れていって子どもたちと仲間と遊べるスペース、お父さん同士が話し合いができるスペースがあればいいかなと思う。なかなか雨の日に子どもを連れていって、何ができるわけではないので、そういうところがないと、大変苦労がある。そういうのが東御市にできたらいいのかなと思っている。</p> <p>学校や公園の遊具が老朽化してきて使えなくなって撤去されてるんが、その代わりにものはないのかなと。お金の面や危険性の面もあるかなと思うが、老朽化して使えなくなると、敷地がただっ広いものだけになり、目について華やかなものが減ってきているのかなと思う。今プールができ、東御市からでていった子どもたちが、この公園で遊んでいて、ここが基礎となって日本を背負って立つような子供が出てきたときに、東御市のこの公園で遊んでいたんだよと言ってもらえるような公園ができればいいのかなと思っている。</p>
<p>商工会青年部</p>	<p>消防団に関しては皆さんの意見を聞いたような感じかなと自分もすごく思う。足して言えば、消防を通じてちょっと年の離れた人とか、下の人とかと知り合って、それから何十年という付き合いができてきているのは、ものすごくいい交流になっているのかなとすごく思う。</p> <p>商工会の方で言うと、今やはり若手後継者がいないという実情があり、それに伴って、帰ってきた人が就職ができる環境整備があればいいのかなと思う。後継者がいないと、どうしてもその跡が続いていかないので。商工会青年部も実情は20何人いるが、活動してるのは10何人。探せばもっといると思うがやっぱりなかなかなく、いつも会の中で悩んでいる課題。あと商業のことと言うとお祭りもそうだが、田中の商店街がもっともっと元気な商店街になって欲しいと思う。他県では、どここの商店街がすごく元気だぞというのがあるので、東御市の中でも田中の商店街はこんないいものがあるぞ、こんなものが売ってるぞというところがあるとアピールできればいいんじゃないかと思う。</p> <p>その他、商工会青年部では、地域のマイタウンウォッチングということで、佐久の南牧村の方に行かせてもらった。その時に、牧場経営している人、農業やっている人、ハウレンソウを作って全国展開をしている人達の話も聞いたり、ハウレンソウ摘み取り体験をやらせてもらったり、パラボラアンテナがあるような印象深いところに行かせてもらった。今年は東御市の方であり、結構な人数が東御市の方に集まってくるため、自分も他のところを色々見て勉強したので、市の方で力を入れているプールとか、ワイナリーとか、東御市にこういうところがあるよと他の人に伝えることができればいいと思う。</p> <p>あと、お祭りとかを運営したりしており、市民祭りは例年3,000～4,000人くらいで連を作ってやっているが、市の中でもうちょっと人が来てもいいのかなと思う。特に祢津の方とかもちょっと色んなお祭りがあるが、祢津の方からももっと一杯参加してもらい、市民でももっともっと盛り上げられるような、お祭りができたらなと今年思った。</p> <p>個人的だが結構キャンプが好きで、東御市はこれだけ自然があり、今ものすごくキャンプが人気なので、市で予約が取れないぐらい人気のあるキャンプ場ができたかなと思う。</p>

<p>課長</p>	<p>本当に率直に色んなご意見頂きありがとうございます。折角の機会ですのもう少しお時間頂戴しまして、お話しさせて頂ければと思いますのでよろしく願いいたします。この後市長にお話を伺いたいと思いますが、すごくいい意見いただいております。私の方で若干まとめさせていただきます。キーワードだけ言わせて頂きます。世代間交流だとか業種間交流というものを大事にしているという意見をいただいております。また要望としましては、高校に入ると医療費の助成が必要なんじゃないかといった話、また、スクールゾーン田中商店街の大型車通行禁止、また、ワインだけでなく他のものについても支援して頂けないかとかですね。後消防団の在り方、あとは企業誘致の助成金があればいいんじゃないか、あと出会う場所が必要なんだと、また雨が降った時にですね、どこか行けてお父さんがたが出会えるスペースがあればいいなど、あと遊具の撤去、どんなものがあるのかですね、あと最後にキャンプ場があればいいなど、こんなお話があったと思います。市長の方からおねがいします。</p>
	<p>(3) 市長の若者世代に魅力的なまちづくりに対する思い</p>
<p>市長</p>	<p>今なぜキャンプかという話がありますが、若い人たちが暑くて大変で海に行かなくなり、山の方が涼しいからという理由で、今はキャンプがはやり始め、もっと言うところブラキャンだとかいう形で、キャンプの雰囲気味わえれば良いという方が増えています。</p> <p>キャンプ用品の会社も、世界最大級の店舗展開を始めたり、日本のキャンプブームを本物にしようとしている動きをしているので、キャンプというのはおもしろいと思いました。</p> <p>いろんな意見を聞いてなるほどなと思いましたが、申し訳ないですが、お金で勝負する話は、絶対東御市は勝てないと思って頂いた方がいいます。長野県の中で人口の80%以上を19市が占めていて、あとの60何町村が2割行かないという状態なんです。地域を特徴づけたりするのは地形だったり気候風土、人柄ということで勝負したり。</p> <p>今日いろんなお話聞いて反省すべき点が多いなと思います。</p> <p>私が12年前に市長にして頂き、その時は団塊の世代の人達は60歳前なんです。団塊の世代が人口最大体で、彼らの意見が基本的には世の中の動きを決めてきましたが、それが60歳前という状態のときに、どうゆう風に舵を取ったかということ、「意外と自分は元気だから70歳までは大丈夫だが、心配なのは子供が生まれていない」ということで、団塊の世代の意思が子育て支援のほうに動いたんですね。ただ、これからもう団塊の世代が70代に入り、自分たちが一人で生きていくという時代に入りますので、その人たちが暮らせる社会をどう作っていくのかというのが大きな課題となっており、訪問リハが遅れているというのが誠に申し訳ないなと痛感する思いです。</p> <p>私の話をさせていただきますと私はやりたかったことが全部だめで、26に人生終わったなって思いました。人生終わったと思って何をしたかということ女房の実家に入れてもらい、親父の仕事を手伝って細々と生きていくという決断を26の頃にしましたが、旧東部まちで生きていく中で、自分がこの地で生きて人生を終わる前に3つの仕事をしようと思いました。</p> <p>一つは当時売り上げが1,000万円ちょっとだった菓子屋を、1人前の菓子屋といわれる菓子屋にしようとして、菓子屋で一人前の給料が取れるそういう菓子屋にしようと思いました。</p> <p>そういった中で地元の農産物を加工していくオンリーワンの道に行こうと考え、当時この地域はくるみだと思ったんです。それからしばらくしてどんどんくるみが伐られていき、3,000本を切るという状態で、今はやっと8,000本までに回復してきたんですが、このくるみの里を守ることが、自分が菓子屋として生きていくのにも重要だし、この地域の特徴であるくるみの郷を残していく、子供達につなげていくということ自分の仕事として、やれば良いのではないかなと思いました。</p> <p>もう一つは、スーパーとかが発達して、大量仕入大量販売が値段が安くなり、古典が生きていくには加工して販売するという菓子屋とかはあっても、製品を仕入れて、売るということが非常にきつい時代に突入しています。そういった中で商売ができるという空間を創ろうということで、工業団地はあるけど、商業団地があってもいいのではないかと行政に物申し、商工会青年部の仲間たちと自分で自分たちが商売できる空間を作り上げていくことを課題としていました。</p>

<p>市長</p>	<p>菓子屋を1人前にする、くるみを残していく、商売ができる空間をつくるという3つを自分の課題として26歳から生きてきました。</p> <p>商工会青年部をまちづくりに導引していくというには、ひとりではできず仲間が必要だとうことで、まず、何をやりたいのかということをはっきりし、それをやるために何が必要かということのアピールして、夢の実現に向かって歩いてきたなと思っています。</p> <p>市長になってやらせて頂いて苦になっているのが、コミュニティというのが本当に必要なのかということで、適度な人間関係、村八分で結構、全然困らないと思っている人が多いんです。隣組に入ってくれないので、市で何とか入ってくれるように言ってくれないかといった意見もありますが、コミュニティってそういうものじゃ無いと思うんです。じゃあ今コミュニティは本当に必要なものなのかと考えたとき、災害が起きたときに必要になってくる。だから消防の皆さん方も、消防のポンプ操法がなぜ必要かっていうと、一つのスポーツ的な要素と、それによって身に着けるものがあるという色んな理屈があるかもしれません。今、市は災害が起きた時にそれに対しみんな助け合うといった決意をもったコミュニティを小学校単位に作りたいたいと思っております。消防も小学校単位に作りかえて、落ちこぼれ、村八分が無いようにしていこうとかたちの中で、動いていったらいいんじゃないかと思っています。</p> <p>若いというのは自分からはすごく魅力的な事で、是非夢を持っていただき、夢に向かって努力することで自分の人生は充実するんだと思っております。</p> <p>今の時代をよしとして再生産するための作業はもちろん必要だし、いいことはどんどん拡大再生産するべきだけど、新しいことをやろうとするときに、それは常識でだめだという人間が多いか、自分たちの時代ではそれはばかげた行為かもしれないけど、それを若い人がやりたいんだしたら、やって経験することが何かを生むんじゃないかと応援できる地域になるかというところで、東御市が変わりつつあると思っています。ワイナリーばかりという意見もよくわかります。でも昔は生食用ブドウばかりでした。ただこの地域の良さという中で取捨選択し、とりあえずこれを何年間か頑張ってみないとこの地域の特徴は出てこないと思います。10年前はワイナリーは1件しかなかったんですが、今10件目ができて塩尻に並びます。この千曲川ワインバレーで17件、ワイナリーが小諸に3件、上田に1件できてます。10年間で動くものもあったと思っています。</p> <p>湯ノ丸に関しては、将来に向かう投資と、今の世代に寄り添う施策の両方が必要ですが、残念ながらお金がないため、将来にわたる投資については理解が得られないということもあり、寄附でやってこうとしています。</p> <p>移住定住についてはいろんな施策を打ってますし、これからも打っていきますが、限界があると思います。移住定住に代わるものが何かというと、実はふるさと納税なんですよ。ふるさと納税をしてもらおうと住まなくても税金を払ってもらおうのと同じ効果があります。例えば今年には既に2億になるうとしているんですが、3割分は経済波及効果として農家を中心に行っているんですね。約1億ぐらいが湯の丸に使わせて頂くということで寄附を募っているんですけども、その関係人口を増やすとか、首都圏に溜まっている巨大な企業の内部留保金を地方に持ってくるには、東御市のためにはお願いでは、なかなか寄附はしてくれない。でも、日本のために、オリンピック成功のために、日本のアスリートのために、寄附してくださいといえ心が揺らぐ。大昔から国民のために大仏を作りましょうと天皇が言ってもお金がないから、偉いお坊さんが天皇の添え書きをもって10年間行脚して寄附を集めて大仏を建てるとやってきているんですね。今に始まったことではないと思いますが、寄附で湯ノ丸に関しては維持し、立ち上げるという決意の中で今動いてきております。今、いろんな意味で賛成反対ありますし、さっき話で10人10色で考えればばらだという話がありましたが、その通りだと思います。だけでも自分のやりたいことをこうだと公言して、だれか手伝ってくれないかということで実現する夢もあると思っています。今日色々教えていただいたこと、市政の参考にさせていただきます。同時に、是非みんなが手伝ってはくれないけども、何人かがお前の夢いいな俺も一緒にやろうかなという、そういう仲間があれば、いい仕事、いい仲間と出会うことができ、絶対に最後に死ぬときに、自分の人生が悪くなかったと思えると思うんですね。是非挑戦することをやめないで頂きたいと思えますし、怒られながらも挑戦しようと、この年になっても思ってますので、どうぞよろしく願いいたします。今日はありがとうございました。</p>
<p>井上課長</p>	<p>市長からまちづくりに対する思いをお話いただきました。そろそろ時間ということになりますが、何かさらに言っておきたいことがありましたら出していただければと思います。</p>

市長	<p>遊具は補助金もつけていますし、中央公園の遊具は今プロポーサルやっています。撤去が先になりすぎているんですけど、危険性を除去するというので。今法律が変わったりして遊具が使えなくなり、撤去した後付けてくださいと5割補助したりするんですが、各自治体が疲弊してたり、子供が少ないということで。あと半分費用を出して遊具をつけるという発想がなくなってきていて、危険性除去のために撤去はするんだけど、昔のようにつけて頂けないというのが現状とところです。もうひとひねりしないとつかないかなと。</p>
井上課長	<p>今中央公園に遊具を設置されるという事で、今年度中に、新しいのが出てくるといいますので、是非お子さんと一緒に行って頂ければと思います。今日は本当に色んなご意見をだして頂きまして、冒頭申し上げました、人口減少対策と地域を元気にするという対策なんですが、是非皆さんの意見を反映して、いい計画にして行きたいなと思っております。私が個人的に思ったのが、皆さんの思いが会おうとか、交流だとか仲間づくりに重きを置いているのが非常に印象的でした。ですから今後もこのような機会を是非設けていければと思います。どうしても会議をやっても60～70代の方がほとんどです。今日本当に若い人たちがお集まり頂き、こんなに若い人たちとの会議ができるんだと実感してたので、是非今後ともよろしくお願ひしたいと思います。1時間半ということで、やらせて頂きましたけど、本当にありがとうございました。次回も是非こういう機会があればご参加頂ければと思います。</p>
市長	<p>それでも最後にこだけは言っておきたいということがあれば。</p>
東御市消防団	<p>先程お話し頂いたところで、基本的にはワインは1次産業で、1次産業と湯ノ丸の話をして頂いた。あくまでウエイトの問題だと思うが、自信が社会人になってから工業系とか電気系に努めているので、そちらの方ももうちょっと何とかしてほしいと思う。東御市で電気系、機械系が最近落ち込んでいる。スマホとか車載用ナビとか、先ほど話に出ていたような企業誘致を考えて頂ければと思う。</p>
市長	<p>ワインに関しては6次産業という言葉を使います。1次+2次+3次=6次だと最初は言われてたんですけど、掛けるんですよ。途中で今村先生という東大の先生が「掛ける」つまり1次がなければ無に等しく、そこからなくなる可能性がある。2次が工業で、3次が商業というんだから、農産物を加工してそれを販売するのが6次産業ということで。地方に土着する産業という形の中で、行政がまず一番力を入れるべき産業として6次産業を提唱されたといひます。やはり工業系がいちばん雇用を生むし、ある意味では税収もあがっていくという側面もあるんですが、自分も地方の工業都市に生まれ育ちましたが、企業城下町だったので、その年その年の景気に左右されました。程よく色々な産業がバランスよく存在している地方都市というのは非常に生活していくうえで安定性があるんじゃないかなとは思っています。比較的、滋野から片羽の工業団地は早く桑畑を工業団地に転換した先輩たちがいらっしやって、すごい将来ビジョンを過去に描いて頂いた恩恵を工業的には受けていますが、あんまり残っていないんですね。この間の東御の日も同じ話をしたんですが、ボルトナットで有名な企業の工業誘致しませんかという話があり、来ていただければ非常にありがたいという話があつて話したんですが、空いてる工業団地は今無い状態です。</p>
井上課長	<p>ありがとうございました。</p>
井上課長	<p>それでは、以上を持ちまして市長と語らう車座ミーティングを閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>